

【活動方針・重点課題】

昨年も新型コロナウイルス感染症の拡大により、各地の健康まつり出展やスポーツ大会支援等の「道民の医療保健福祉の増進に寄与する事業」の多くが中止となりました。ただ、その中でもオンラインを利用した高校生の理学療法見学・体験や介護予防教室等、感染予防の工夫をしながら対面にならず、実施された事業もありました。学術、教育事業も同様にオンライン開催となり、全国の理学療法士が多数、本会の講習会、研修会等に参加していました。コロナ後の新たな生活様式のもと、本会の活動も変化の兆しが見られ、北海道の広大さ故に移動に掛かる時間、費用、手間等が奇しくも解消されることになりました。今年もこの経験による利点は活かしつつ、本会会員が求める事業を提供し、ひいては広く道民の健康福祉に貢献していきます。

理学療法士に対するニーズは、病院、施設内にとどまらず、地域包括ケアシステムにおける介護予防事業や地域ケア会議、企業の健康経営のための支援、学校保健事業、災害時のリハビリテーション支援、各種スポーツ大会の支援等、多岐に亘っています。これに答えていくためには、地域における組織力の強化とそれぞれのニーズに対する理学療法士の質の向上が求められます。これまで5年あまり取り組んできた、指定管理者、管理者ネットワークを必要な時に活用できる仕組みにしていきます。

地域包括ケアシステムの確立には、他職種と協働した取り組みが重要であり、引き続き、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を窓口に通基金事業による研修事業、住民主体の自主グループ支援等の市町村事業を展開していきます。

いよいよ開始される新生涯学習システムは、多くの会員がその仕組みを理解することに難渋しているかと思えます。それぞれが、どのように学んでいけば良いのか、自施設または地域での教育を進めていけば良いのかを説明していく機会を設けます。

また、円滑な事業構築、実施のためには、支部を中心にどのような組織体制、支援が必要なのか、引き続き検討を進めていきます。

様々な活動を行い、その環境を確保していくためには、政治との関わりも重要になってきます。自分達の政策を広く伝えていくためにも、北海道理学療法士連盟と連携し、職域の維持・拡大に努めていきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、十分な予防対策を講じながら、各種事業に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

1. 指定管理者の推進並びに管理者ネットワークの整備、活用

地域包括ケアシステムに対する対応は支部や市町村へとミクロ化し、地域の医療機関、施設等に勤務する管理者間の協力が欠かせません。また、地域の医療機関の病床再編や介護・福祉サービスの連携に関しても、互いの情報共有が重要です。近年、理学療法士の急増に伴い、質の低下も聞かれ、管理者が自施設の理学療法士の質向上のために意識改革や行動を求められています。そのため、平成28年度より管理者研修会を開催し、「協会指定管理者」の育成、「管理者ネットワーク」の構築を行ってきましたが、十分に進んでいない状況にあります。指定管理者取得者並びに登録者を増やし、ネットワークを活用する方策について、管理者ネットワーク推進特別委員会で検討を進めていただき、地域における横の繋がりを充実し、組織力を強化します。

2. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステム関連事業は、引き続き、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を窓口に対応を進めます。ただ、これまでHARPで対応した事業の実施状況が伝わっておらず、一部では本会会員が地域ケア会議や介護予防事業等に関与していないような誤解があったようです。HARPで受託している地域リハビリテーション指導者養成等事業の地域ケア会議アドバイザー養成研修や介護予防アドバイザー養成研修、地域リハビリテーション連携強化研修会や地域包括ケア推進部の推進リーダー導入研修会を積極的に受講いただき、派遣登録の上、住民主体の自主グループ育成支援等、各市町村事業への協力をお願いいたします。

3. 学術・教育活動の推進

理学療法士の質向上のためには、全ての理学療法士が生涯に亘り、学び続けることが必要です。コロナ禍の影響で開始が1年間延期されていた新生涯学習システムが今年度より始まります。前期研修、後期研修の受講や実地研修、登録理学療法士制度、認定理学療法士の教育機関等、新たな仕組みにより、どのように学習を進めて行けば良いのか、自施設でどう展開すべきか困惑している方が多いと思います。学術局、教育局が中心となり新システムについて積極的に情報発信し、みなさんの学びを支援します。

また、一昨年度から進めてきたオンラインでの講習会、研修会等については、感染予防の目的や広大な道内において、どこからでも参加できることから、引き続き開催すると共に、対面においても感染に配慮し、安全に開催できる方法を検討します。

4. 障害予防を含むスポーツ支援の推進

昨年度は、2020 東京オリンピック・パラリンピックが行われ、マラソンと競歩は札幌で開催されました。東京や札幌の選手村や競技会場で多くの本会会員が選手達の支援にあたりました。これまでも、各地域においてスポーツ現場でのメディカルサポートを実施してきましたが、今回のオリンピック・パラリンピックでの経験をレガシーとして、より多くの会員がスポーツ関連事業に参加し、道民の健康増進や障害予防に寄与できるよう活動支援、啓発活動を行います。

5. 効果的な事業運営のための体制整備の検討

各支部においては、コロナ禍にあっても学術事業、社会事業等が活発に行われています。これまで市町村等、行政機関や各種団体からの急な依頼も散見されます。これらに速やかに対応できる組織体制の整備が必要です。また、理学療法士を取り巻く環境や求められる役割も徐々に変化し、展開すべき事業は多岐に亘っています。これを実施していくにあたり、より機能的な部局のあり方を検討していきます。

6. 北海道理学療法士連盟との連携強化

理学療法士の職域維持・拡大のためには政治力の強化は欠かせません。今年は、夏の参議院選挙も予定されていますが、これまで以上に北海道理学療法士連盟と連携し、国政や道政に対し、理学療法士に関わる政策を伝え、実現できるよう進めていきます。

《令和4年度重点事業計画》

1. 指定管理者の推進並びに管理者ネットワークの整備、活用
2. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
3. 学術・教育活動の推進
4. 障害予防を含むスポーツ支援の推進
5. 効果的な支部事業運営のための体制整備
6. 北海道理学療法士連盟との連携強化

令和4年度（2022年度）事務局事業計画

事務局

局長

小林 巧

【活動方針・重点課題】

新型コロナウイルス感染症の影響によって事業実施形態の判断がまだ難しい状況にありますが、可能な限り各部局、支部と相談の上、事業が円滑に進むよう援助していきたく思います。

今年度より新生涯学習制度および新会員管理システムが稼働されましたが、新システム移行に伴う諸問題に対しては、日本理学療法士協会と連携を取りながら適宜対応できるよう取り組みます。

事務局で所管している定時総会については、近時の状況により開催方法を検討し、令和5年新年交礼会については、適切な時期に開催可否をお示しいたします。また、会員数の増加に伴い事務局業務量は増加しており、事務処理機能の強化、業務内容の整理、各種規定等の見直しなどを検討していきます。

事務局では、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の基金事業並びに市町村からの委託事業に関する事務処理も担っていますが、その業務量は多く、これにも対応できるよう適切な職員配置を検討してまいります。

各部局、支部の多岐にわたる活動に十分に対応し得るよう、事務局として対応してまいります。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣推薦事務
- ・専門職派遣事業
- ・北海道リハビリテーション専門職協会介護予防事業支援（札幌市分）

《公2：学会・研修会支援事業》

- ・事前参加システム決済代行支援
- ・事業稼働日当交通費支払業務

《その他事業》

- ・事務局会議
- ・学術奨励基金（学術奨励賞、社会分野奨励賞、養成校優秀賞）
- ・メルマガ配信事業（緊急時のFAX通信を含む）
- ・常設委員会、特別委員会
- ・新人歓迎会支援
- ・会計部長業務支援
- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・理事会、常任理事会、三役会議
- ・法人監査
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース校正支援など）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【関係団体協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力及び事業参加
- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力

令和4年度（2022年度）学術局事業計画

学術局

局長

橋田 浩

【活動方針・重点課題】

令和4年度より運用開始となる新生涯学習制度への移行をスムーズに進めるために、教育局や各支部との学術・教育部担当者と連携を図り会員への情報周知に努めます。新生涯学習制度を通して会員が持続可能な自己研鑽を行い、成長することができるように支援を致します。また、将来的な学術局の役割についても検討してまいります。前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学術局事業は遠隔会議ツールを利用した事業展開を行い、会員の皆様に参加頂きました。今年度も対面事業が再開可能となるまでは、引き続き遠隔会議ツールを活用の上、学術大会をはじめ学術研修大会、技術講習会を開催し、より多くの会員が参加できるように周知活動の充実を図ります。学術誌「北海道理学療法 39 巻」も引き続き編集、発刊作業を行い、会員の研究成果報告、症例報告の機会を提供致します。

学術局共通においては1) 教育局との合同会議ならびに各支部の学術教育部担当者との会議を開催いたします。学会研修部においては、1) 学術大会の開催および開催計画支援、2) 学術研修大会の開催および開催計画支援、3) 学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実、4) 学会運営の負担軽減のためのシステム導入の検討、5) 学術大会担当制度について検討致します。学術誌部においては、1) 学術誌部会議による投稿者数の増大の検討、2) 編集会議による投稿規定の見直し、3) 北海道理学療法第39巻の編集・発刊作業を致します。専門領域部においては、1) 技術講習会の運営、2) 新生涯学習制度を考慮した技術講習会の企画立案を進めて参ります。

【各部事業】

〈学術局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術・教育局合同会議
- ・学術・教育局・各支部学術教育担当者会議

〈学会研修部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第73回北海道理学療法士学術大会（道北支部：旭川市）の開催支援
- ・第74回北海道理学療法士学術大会（札幌支部）の開催計画支援
- ・第75回北海道理学療法士学術大会（日胆支部）の開催計画支援
- ・学会間の引継ぎ支援
- ・学術研修大会の開催支援および公募・採択
- ・学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実

《収1：機器展示事業》

- ・第73回北海道理学療法学術大会機器展示

〈学術誌部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術誌部会議
- ・北海道理学療法の編集・発刊作業（第39巻）

〈専門領域部〉

《公2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議
- ・各専門領域の技術講習会開催（第225回～235回）
 - 第225回「機能解剖からみる下肢疾患の理学療法評価-股関節・足関節に着目して」（2022年6月18日～19日）
 - 第226回「脊髄小脳変性症に対する制度活用と生活支援について」（2022年8月27日）

- 第 227回「小児急性期医療領域における理学療法介入（仮）」（2022年9月3日～4日）
- 第 228回「整形外科疾患の痛みの評価とその対応」（2022年9月～10月）
- 第 229回「片麻痺の評価と治療～姿勢制御に基づくアプローチ～（仮）」（2022年9月～10月）
- 第 230回「急性期～回復期における片麻痺への装具療法」（2022年10月～11月）
- 第 231回「エビデンスに基づいた車椅子シーティングの実践」（2022年9月～10月）
- 第 232回「呼吸リハビリテーション」（2021年12月～2023年2月）
- 第 233回「心・大血管リハビリテーション」（2022年11月～2023年2月）
- 第 234回「前十字靭帯再建術後アスリートへの理学療法-再損傷予防とパフォーマンスエンハースメント」（開催予定：2023年1～2月）
- 第 235回「2型糖尿病の理学療法」（2022年11月～2023年2月）

令和4年度（2022年度）教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の企画、実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。2022年度の事業に関しては基本的に対面形式での開催を考えていますが、感染症の状況次第でWebでも開催できるような準備を進めていきます。

教育部は、協会の新生涯学習システムの開始に合わせ上半期中心にシステムの説明会を全支部で実施し、道内会員への周知をはかっていきます。また新システムに合わせ理学療法士講習会が限定されたテーマでの申請となったため、今年度本土会では、理学療法士講習会という講習会名を改め、臨床実践基礎講習会という講習会名に変え、従来同様、臨床における基礎的な内容での講習会を企画していきます。さらに新生涯学習システム前期研修の初期研修（従来の新人教育プログラム必須初期研修会、対面研修での受講を推奨）に対し、本土会でも対面受講を基本とした研修を企画していきます。

職域教育部は、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を例年通り実施していく予定です。また必要に応じて他局との連携をとりながら事業を進めていきます。

【各部事業】

〈教育局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・研修・講習会に使用する感染対策備品やWeb開始に備えたPC関連備品など

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・教育部会議

臨床実践基礎講習会（5本）

脳卒中編	受講定員 60名
神経筋障害編	受講定員 60名
運動器編	受講定員 60名
呼吸リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 60名
心臓リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 60名
臨床実習指導者講習会（8回開催）	受講定員 640名

《その他事業》

新生涯学習システム会員説明会	10支部、対面形式
前期研修新人教育初期研修」（仮）	受講定員 200名
履修管理業務支援	

〈職域教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・職域教育部会議
- ・第33回スポーツ支援講習会 受講定員 60名
- ・第34回スポーツ支援育成講習会 受講定員 60名
- ・第18回健康支援育成講習会 受講定員 60名
- ・第19回健康支援育成講習会 受講定員 60名

令和4年度（2022年度）社会局事業計画

社会局

局長

近藤 和夫

【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼をおいて活動しております。

来年度における新型コロナウイルスによる影響は予測できない状況ですが、例年の事業に加え新規事業の検討もしていかなければなりません。介護予防・健康増進支援部では関連事業のニーズを調査し啓発活動に向けて積極的な働きかけを検討しています。企画推進部では、「理学療法の日」にあわせた社会局としての事業を検討しています。広報部では、ここ最近取材活動ができていませんでしたが、次年度はそれが可能となるように努めなければなりません。災害リハビリテーション支援部では、地域（各支部）のコアメンバーとなる会員向けにファシリテーター研修会を予定しています。また、支部と連携調整を行い道内会員の安否確認システムの構築を目指します。

また各支部社会部とも連絡調整を行い、道民の健康に寄与できるよう努めていきます。

【各部事業】

〈社会局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・社会局会議

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進支援部会議
- ・いきいき健康・福祉フェア2022への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣
- ・けんこうフェスタへのスタッフ派遣
- ・STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」健康一口メモコーナー出演講師派遣・調整
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整

〈企画推進部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・企画推進部会議（社会分野小委員会を含む）
- ・支部社会部長・社会局合同会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー1（パッケージ制作と周知）
- ・道民向け啓発セミナー2（小学生及びその保護者対象）

〈広報部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・広報部会議
- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材・撮影

〈災害リハビリテーション支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・災害リハ支援部会議〔災害時会員安否確認システムの構築、会員に向けた普及啓発活動（資料・動画の作成、提供）〕

- ・災害時リハビリテーションマニュアルの作成

《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション支援研修の開催
 - 導入研修（オンライン開催）
 - ファシリテーター研修（対面開催）

令和4年度（2022年度）職能局事業計画

職能局

局長

千葉 恒

【活動方針・重点課題】

職能局では、本会が重点課題として掲げている地域包括ケアシステム推進の支援および管理者ネットワークの有効的な活用に向けた活動を継続して行います。また、会員への職能に関する情報提供を充実させていくためにも、職能局事業と支部職能部事業の情報共有を図り、局と支部が協同しながら活動していけるよう支援していきます。

新設した管理者育成推進部では、現状の管理者ネットワークの登録率が伸び悩んでいる原因を精査し、必要性や活用方法も含め、再考していきます。今年度は、職域別（急性期・回復期・生活期）の管理者研修会を企画し、管理者同士の情報交換の場を提供していきます。その他、協会指定管理者研修会を企画し、オンライン研修として開催します。

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。前年度より開始した養成校の学生を対象とした介護保険領域の講話や学生と生活期で働く会員の交流機会を通して、介護保険領域を志す学生や若手会員が増加することを目指し、活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続していきます。また、職域に関する状況把握調査を実施し、会員のおかれている環境実態の把握、課題分析を行い、会員に情報を提供していきます。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と、地域における介護予防やケア会議への参加を担う人材への研修を行っていきます。また、各支部に装具相談窓口を設立し、道内各地域に装具処方の状況や修理相談窓口などの流れを支援していきます。地域での装具における課題も調査・分析し、装具の作成や修理などの対応策も検討していきます。

【各部事業】

〈職能局共通〉

《その他事業》

- ・職能局部長会議
- ・職能局支部職能部長合同会議

〈管理者育成推進部〉

《その他事業》

- ・管理者育成推進部会議
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・施設管理者ネットワーク活用事業
- ・協会指定管理者研修会検討会議
- ・協会指定管理者研修会（初級）

〈職域事業部〉

《公1：健康増進事業》

- ・企業における肩こり・腰痛対策事業

《その他事業》

- ・職域事業部会議
- ・復職支援に向けた検討会議
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・理学療法士の職域偏倚緩和事業
- ・学生と生活期のPTの交流ワークショップ
- ・養成校での介護保険領域の講話
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業
- ・会員動向把握事業
- ・職能に関する情報提供事業

〈地域包括ケア推進部〉

《公1：健康増進事業》

- ・装具相談窓口設立事業

《公2：学術振興事業》

- ・介護予防推進リーダー導入研修会
- ・地域包括ケア推進部会議
- ・地域包括ケアを学ぼう
- ・地域包括ケアを学ぼう（中級編）
- ・地域包括ケア研修会（中堅・管理者）
- ・地域ケア会議リーダー導入研修会

令和4年度（2022年度）健康スポーツ局事業計画

健康スポーツ局

局長

梅本 かほり

【活動方針・重点課題】

健康スポーツ局は、人生（ライフステージ）で運動習慣を支援・啓発する「生涯スポーツ支援部」と障がいを持った方への適切な運動を支援・啓発する「障がい者スポーツ支援部」の2つの部で構成され、地域健康保健に寄与することを目的としています。

生涯スポーツ支援部は、運動習慣を含むスポーツ領域での地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、北海道マラソン救護班や高野連メディカルサポート活動の支援を継続し、スポーツ関連事業へのスタッフ派遣などをしながらスポーツメディカルサポートに関わる会員の情報を集約しネットワークを構築していきます。あわせて、スポーツ関連事業へ参加したい若手理学療法士に対し、実際の現場の見学や指導が受けられる場を提供し、サポートの輪を広げていきたいと考えています。

障がい者スポーツ支援部は、パラスポーツ活動を支援する他、パラスポーツ分野で活躍する理学療法士の情報管理や派遣調整を行い、地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、道内で行われているパラスポーツイベントに出向き、パラスポーツでの理学療法士の活躍を紹介するなどの情報配信や理学療法士の関りの少ないパラスポーツへのきっかけ作りの他、パラスポーツ体験会等の実施によりパラスポーツ関心度を高めるなど啓発活動も行います。

【各部事業】

〈健康スポーツ局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・健康スポーツ局会議
- ・支部健康スポーツ支援部長会議

〈生涯スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・生涯スポーツ支援部会議
- ・北海道マラソン救護班活動支援事業
- ・高野連メディカルサポート支援事業（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・スポーツ関連への派遣支援情報ネットワーク構築事業

〈障がい者スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・障がい者スポーツ支援部会議
- ・パラスポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・パラスポーツ関連への調査事業
- ・パラスポーツ支援ネットワーク構築事業

令和4年度（2022年度）支部事業局事業計画

支部事業局

局長

阿部 隆宏

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案と状況に応じた修正、決算報告などを支援します。令和4年度は新型コロナウイルスの影響も考慮しながら、対面開催やweb開催による事業を推進し、各支部に応じた学術・教育活動、社会・職能活動が円滑に行われるように支部と一体となって支援します。また、支部と事務局間との連携、支部間の連携強化を図り、全道均一のサービスが展開されるように支援します。

【支部事業局共通】

《公2：学術振興事業》

- ・拡大支部事業局会議

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道南支部健康スポーツ部会議（4月、6月、8月、10月予定）
- ・道南支部社会部会議（年3回）
- ・高野連メディカルサポート事業（年3回 春、夏、秋大会）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市NPOまつり出展参加）
- ・道南支部健康安全運転講座（春・秋）
- ・函館マラソンメディカルサポート事業
- ・南渡島地域リハビリテーション推進会議
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』（11月頃開催予定）

《公2：学術振興事業》

- ・道南支部役員会議：4回（4月、7月、10月、1月）
- ・道南支部学術教育部会議：年5回（4月、6月、9月、12月、2月予定）
- ・道南支部症例検討会：年4回（5月、8月、11月、2月予定）
- ・道南支部学術教育部研修会：第1回～第4回（6月、8月、10月、1月予定）
- ・道南支部第1回健康スポーツ部研修会「スポーツ・臨床現場で必要とされる足部の評価と治療」
- ・道南支部第1回社会部研修会「子どもに対する障害予防（仮）」
- ・道南支部第2回社会部研修会「災害支援（仮）」
- ・道南支部第2回健康スポーツ部研修会「スポーツ・臨床現場で必要とされる肩関節の評価と治療」
- ・第8回 道南理学療法士学術大会（6月～10月）
- ・第4回 道南理学療法士学術研修大会（11～2月）「もっと広げよう理学療法士の活躍フィールド」（仮）

《その他事業》

- ・道南支部職能部会議：年4回（4月、7月、10月、1月開催予定）
- ・第73回北海道理学療法士学術大会における演題発表（支部事業報告）：6月25、26日
- ・道南支部第1回職能部研修会：「理学療法士の職域拡大と医療政策論（仮）」（4～6月開催予定）
- ・道南支部第2回職能部研修会：「介護保険関連（仮）」（開催時期未定）
- ・道南支部協会指定管理者研修会（開催は職能局判断）
- ・道南支部新人歓迎会：（6月～10月）

〈日胆支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2022 ブース出展、市民公開講座）
- ・健考・健幸 DAY 2022
- ・日胆支部高野連メディカルサポート事業 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・日胆支部各種派遣事業（西胆振地域リハビリテーション推進会議ほか）

《公2:学術振興事業》

- ・日胆支部 研修会 5回（日高1回、苫小牧1回 伊達1回、室蘭2回）
- ・日胆支部 症例検討会 4回（日高1回、苫小牧1回、室蘭1回、地区合同1回）
- ・日胆支部 役員会 2回
- ・日胆支部 地区運営委員会 8回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各2回）
- ・日胆支部 社会部会議 1回
- ・日胆支部 学術・教育部会議 1回

《その他事業》

- ・日胆支部 職能部会議 1回
- ・日胆支部ニュースの発行 2回、事前会議2回
- ・日胆支部 新人歓迎会 4回（苫小牧・室蘭・伊達・日高）

〈札幌支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・札幌支部健康スポーツ部会議（年3回）
- ・札幌支部社会部会議（年3回）
- ・清田区健康&介護予防フェア（10月頃）
- ・札幌支部理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～（7月）
- ・札幌支部高野連メディカルサポート：年6回（札幌支部予選、全道・北海道大会：春季、夏季、秋季）
- ・札幌市立高校生職場体験（対象病院施設調整：7～9月）
- ・札幌地域包括ケア推進事業
- ・札幌支部派遣事業（随時）

《公2:学術振興事業》

- ・第30回全道学術研修大会、第1回札幌支部学術研修大会
- ・第9回札幌理学療法学術大会（2月）
- ・札幌支部講習会：（第1回～第3回）年3回
- ・第1回札幌支部災害リハビリテーション研修会
- ・札幌支部役員会：年3回
- ・札幌支部学術教育部会議：年3回
- ・札幌支部事務部会議：年3回
- ・札幌支部症例検討会：年2回

《その他事業》

- ・札幌支部職能部会議：年3回
- ・札幌支部講師バンク・スタッフバンクの管理（随時）
- ・札幌支部管理者研修会
- ・札幌支部地区懇談会
- ・札幌支部新人歓迎会
- ・札幌支部管理者研修会（職能局との協力開催）

〈石狩支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・石狩支部社会部会議：年3回（4月・8月・10月）
- ・石狩支部理学療法週間 高校生理学療法見学・体験（7月～8月）
- ・石狩支部理学療法週間 介護予防事業（7月）
- ・北広島市元気フェスティバルへの協賛（8月）
- ・千歳市健康祭りへの協賛（9月）
- ・石狩いきいきフェスタへの協賛（10月）
- ・石狩支部健康スポーツ部会議 年2回（4月～3月）
- ・石狩支部健康スポーツ事業 マラソン教室 年1回

《公2：学術振興事業》

- ・石狩支部症例検討会 年2回（4月～12月）
- ・石狩支部講習会（年1回）
- ・石狩支部学術教育部会議（年2回）
- ・石狩支部役員会議：年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）
- ・石狩支部事務部会議：年3回（4～12月）

《その他事業》

- ・石狩支部 3士会合同研修会：年4回（5～10月）
- ・石狩支部職能部会議：年2回（4・10月）
- ・新人歓迎会

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志支部健康スポーツ部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7～8月2ヶ所予定）
- ・後志支部健康スポーツ支援事業（7～10月）
- ・後志支部各種派遣推進事業
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）

《公2：学術振興事業》

- ・後志支部第1回研修会（7～12月）
- ・後志支部第2回研修会（7～12月）
- ・後志支部症例検討会（年3回；7～8月、9～10月、1～2月予定）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年2回）
- ・後志支部学術教育部会議（年3回）

《その他事業》

- ・後志支部職能部会議（年2回）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部新年交礼会出席（小樽市医師会、柔道整復師会）
- ・後志支部新人歓迎会（開催予定日はCOVID-19の動向を見て判断）
- ・後志支部管理者研修会

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部健康スポーツ部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9～10月）
- ・ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）
- ・空知スポーツ障害予防講座（妹背牛、11月 三笠、1月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（第1回8月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部第1回研修会：「心臓リハビリテーション～呼吸器との関連に着目して～」(会場未定、6～7月)
- ・空知支部学術教育部会議（時期未定、1回）
- ・第6回空知理学療法学術大会（会場未定、11月）
- ・空知支部第1回症例検討会（Web開催を予定、2月）
- ・空知支部災害リハビリテーション研修会（会場未定）

《その他事業》

- ・空知支部全体集会（Web開催、6月）
- ・空知支部職能部会議（時期未定、3回）
- ・空知支部第1回職能部研修会：
「1. パラリンピック帯同を経験して 2. 理学療法士の政治活動の目的と意義」(Web開催)
- ・空知支部第2回職能部研修会：「国際協力活動（JICAの活動を経験して学んだ事・伝えたい事」
(Web開催、2月)
- ・空知支部新人歓迎会（会場未定、5～6月）

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり参加6月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間7月）
- ・道北支部健康安全運転講座（6月と9月の年2回、旭川市と士別市で開催予定）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川・名寄・宗谷/5～9月予定）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（旭川ハーフマラソン/9月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン/3月予定）
- ・道北支部行政関連会議出席（上川中部リハ推進会議総会・NPO法人住まいるイン旭川総会）
- ・道北地域リハ推進会議協賛（上川中部・宗谷）
- ・道北各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・道北支部学術教育部会議（全3回5,7,9月）
- ・第5回道北理学療法学術大会（10-12月）
- ・道北支部第1回研修会（7-9月）
- ・道北支部第2回研修会（1-3月）
- ・道北支部宗谷地区研修会（6-11月）
- ・道北支部スポーツ支援スタッフ育成研修会（11月）
- ・道北支部症例検討会（全3回小児・中枢・整形）
- ・道北支部役員会議（全4回5,7,9,11月）
- ・道北支部拡大役員会議（2月）

《その他事業》

- ・道北支部全体集会（12月）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）・ホームページ更新
- ・道北支部関連団体式典参加（北都保健福祉専門学校入学式、卒業式、旭川医師会新春懇親会）
- ・道北支部職能部研修会（9-12月）
- ・道北支部職能部会議（全2回5,9月）
- ・道北支部社会部・健康スポーツ部合同会議（全2回5,9月）
- ・道北支部新人歓迎交流会（上川中部・上川北部・宗谷）（4～5月）

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・十勝支部各種派遣推薦事業
- ・十勝支部理学療法週間事業（介護予防）：7月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート事業：5月～9月
- ・帯広市介護予防派遣事業：5～3月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部健康スポーツ部会議（年2回）：4～3月

《公2：学術振興事業》

- ・十勝支部第1回研修会（学術教育部企画）：8～9月
- ・十勝支部第6回十勝理学療法学術大会：10～11月
- ・十勝支部第2回研修会（職能部企画）：12～2月
- ・十勝支部役員会議（年5回）：4月～3月
- ・十勝支部学術教育部会議（年2回）：4月～10月

《その他事業》

- ・十勝支部会員名簿の作成と配布：8～9月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部新人歓迎会：5月

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・釧根支部社会部会議（年2回）
- ・釧根支部健康スポーツ部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部理学療法週間事業（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・釧根支部高野連メディカルサポート（春・夏・秋）
- ・釧路湿原マラソン大会サポート（7月）
- ・釧根支部派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・釧根支部役員会議（年4回：4, 7, 10, 2月）
- ・釧根支部学術教育部会議（年2回）
- ・釧根支部メディカルサポートスタッフ育成支援講習会（4月）
- ・釧根支部第1回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・釧根支部第2回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・釧根支部災害リハビリテーション研修会（時期未定）
- ・釧根支部事務部会議（年2回 時期未定）

《その他事業》

- ・釧根支部職能部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部職能部研修会（時期未定）
- ・釧根支部会計部会議（時期未定）
- ・釧根支部新人歓迎会（時期未定）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部香りゃんせフェスティバルへの出展(5月～7月予定)
- ・道東支部北見市健康まつりへの出展(7月～10月予定)
- ・道東支部網走市市民健康まつりへの出展(8月～10月予定)
- ・道東支部ハッカの日ジョイントコンサート(9月予定)
- ・道東支部北見市ふれあい広場への出展(6月～9月予定)
- ・道東支部きたみんと体操普及推進事業(4月～3月)
- ・道東支部理学療法週間事業～呼ぼう！予防！理学療法士(仮)フリーペーパー連載(4月～7月予定)
- ・道東支部社会部会議(年5回予定)
- ・道東支部地域包括協働事業(同行訪問、施設ケースカンファレンス)
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議
- ・きたみんと体操サポーター養成講座
- ・道東支部スポーツ支援事業(北見ハーフマラソン、10月予定)
- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学(4月～10月予定)
- ・道東支部講師派遣事業の公文書発行

《公2：学術振興事業》

- ・道東支部社会部研修会 災害リハ研修会(仮)
- ・第1回道東支部研修会(7月予定)
- ・第2回道東支部研修会(9月予定)
- ・第3回道東支部研修会(11月予定)
- ・第4回道東支部研修会(2月予定)
- ・道東支部支部役員会議(年4回予定)
- ・道東支部学術教育部会議(年5回：5、7、9、11、2月予定)

《その他事業》

- ・道東支部ニュース発行(年3回：6、10、2月予定)
- ・道東支部職能部会議(年5回予定)
- ・第1回道東支部職能部研修会(テーマ：未定)
- ・道東支部介護部門ネットワーク構築事業(9月～10月)
- ・道東支部斜網地区理学療法士ネットワーク構築事業(11月～12月)
- ・道東支部新人歓迎会(時期未定)